

郡上市指定史跡 「薬師堂」

郡上市高鷲町鷲見堂ヶ洞 昭和57年1月29日指定

鷲見の薬師堂は、難病快癒のお薬師様ということで古くから住民に慕われた。

薬師堂は、薬師如来を本尊とする仏堂の呼称である。

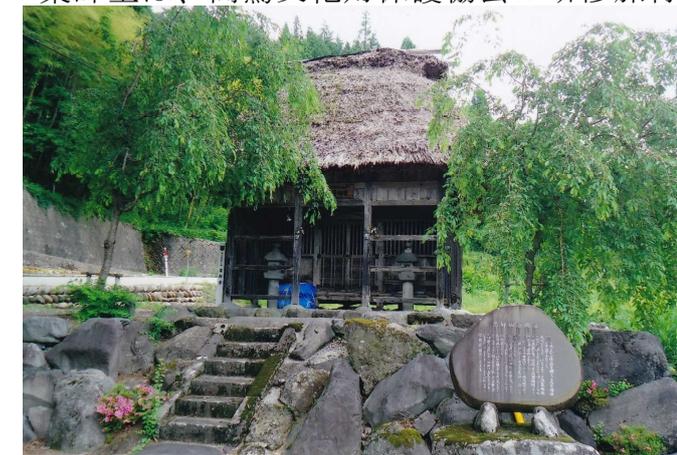
薬師如来は、大乘仏教において病氣平癒等の現世利益に効験のある仏として広く信仰されており、アジアの仏教圏の中でも特に日本では薬師如来を本尊とする寺院や仏堂が各地に数多く存在する。但し、薬師如来を本尊とする仏堂がすべて『薬師堂』と呼称されるわけではなく、寺院ごとに様々な名称で呼ばれている。薬師如来像を安置する堂が寺院の中心となる建物である場合は『本堂』『金銅』『根本中堂』などと呼称される場合が多い。

薬師如来を本尊とする寺院の寺号には、『薬師寺』『薬王寺』『医王寺』などのほか、『東光寺』『東明寺』のように『東』の字が付くことが多い。これは、薬師如来が東方瑠璃浄土に住すると信じられていることによる。また、薬師如来の詳名『薬師瑠璃光如来』にちなんで『瑠璃光寺』と号する場合がある。

『国宝』となっている薬師堂は、平安時代後期に建立された京都の『醍醐寺薬師堂』と高知に『豊楽寺薬師堂』、鎌倉時代後期に建立された山梨の『大善寺薬師堂』の3ヶ所で、岐阜県には国指定重要文化財として関市の『新長谷寺薬師堂』がある。なお、京都醍醐寺の薬師堂は、高鷲文化財保護協会の研修旅行で見学しました。



国宝 醍醐寺薬師堂



令和元年夏の筆者撮影 薬師堂



令和3年頃の屋根を修理中の薬師堂 筆者撮影

高鷲町鷲見の薬師堂は、教願寺北側の道路沿いにある鷲見老人憩いの家の横にある木造茅葺きで正方形の特異な堂宇である。

建造物、仏像、灯籠、狛犬、絵馬等があり、江戸時代中期のものとおもわれる。堂宇の南側には清水が湧き出ており、これが手水場所と現在ではなっている。



令和2年2月筆者撮影 薬師堂



御堂内ある狛犬

薬師堂前の説明石碑『薬師堂の由来』には次のように書いてある。

『昔 この地に人が住み始めた頃から、このお薬師様がここに安置されていたという。先祖代々から言い伝えによると、この御薬師様は日本に三体しかなくそのうちの一体であると言われ、難病を救い快復させる御薬師様として住民に深く信仰されていた。この地の住民は日夜参拝を怠らず病氣回復後も喜びと感謝に満ちた参拝者が数限りなく続いたと言われている。』

御堂は古来から特別の風格を存続し、新築することもなく萱で特期により住民が萱替えを行って現在に至っている。

御堂の地下よりは、この石碑の下へ冷水が流れ出ており、昔はこの水を桶に入れ、冬は櫛で各家庭に運び諸病の治療に入浴し、現在は、老人いこいの家へパイプで通し、風呂に流し入れて年中時折入浴し健康を保つ習わしになっている。』



現在の薬師堂と手水場所（修繕しても痛みがひどい）

高鷲文化財保護協会からのお知らせ

1, 高鷲文化財保護協会主催『県外視察研修』

令和6年11月5日(火) 8:00 高鷲庁舎前集合 17:00 帰着

「福井の永平寺と朝倉一乗谷遺跡」 参加費 2000円(施設入館料) 昼食自己負担

2, 高鷲文化財保護協会主催『文化財講演会』

講師：高橋教雄先生（郡上市文化財審議委員長）

日時：令和6年12月7日(土) 13:30～16:00

場所：高鷲町民センター研修室